



平成 26 年 12 月 12 日

報道関係各位

市内の小学生がヤマメの稚魚を多摩川へ放流します

福生水辺の楽校は、子どもたちの水辺の遊びを支える地域連携体制の構築や、自然環境あふれる安全な水辺の創出を目的に行われる、国土交通省が中心となり進めるプロジェクトです。

福生水辺の楽校では、子どもたちが魚の生態を学び、自然への理解を深めることを目的として、希望する市内の小学校にヤマメの卵を配布しました。

今回、子どもたちが学校や家庭で飼育し、孵化したヤマメの稚魚を秋川漁業協同組合の協力のもと多摩川へ放流します。

〈1回目〉

日時：平成 26 年 12 月 15 日（月）午後 3 時から

集合場所：多摩川中央公園げんき広場

参加校：福生市立福生第七小学校（稚魚数：数匹）



放流の様子（平成 25 年度）

〈2回目〉

日時：平成 26 年 12 月 19 日（金）午前 10 時 30 分から

集合場所：睦橋下（福生市側）

参加校：福生市立福生第五小学校（稚魚数：100 匹前後）

■参加者：福生水辺の楽校運営協議会会長、秋川漁業協同組合理事、参加校の先生及び児童、福生市環境課職員



熱心に説明を聞く児童（平成 25 年度）

※福生水辺の楽校では、市と地域のボランティアスタッフとの協働事業で「多摩川で遊ぼう！」を合言葉に毎月第 2 日曜日を中心に市内の多摩川で子どもたちと自然体験活動をしています。

■問合せ 福生水辺の楽校運営協議会事務局（生活環境部環境課内）担当：住友
電話：042-551-1718（直通）